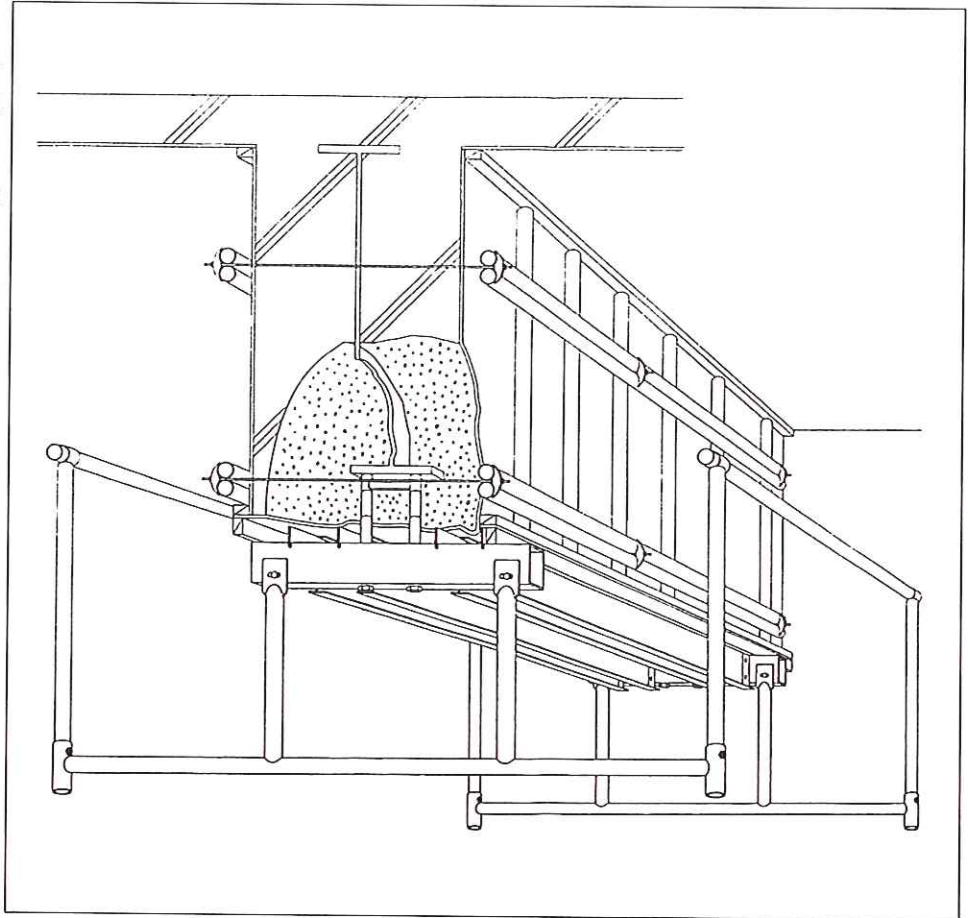


ニッソー・NS工法 PAT. (NSSO NON SUPPORT FORMING SYSTEM)

特長

- 型枠工事先組可能
梁下の足場・支保工がセットされているために梁・床部分の型枠が先組可能となります。
- 作業スペースの確保
従来工法(サポート・枠組)では、梁・床下面が機材置き場や型枠の組立・鉄筋加工等の作業スペースとして使用出来ず、作業効率・安全面の点で多くの問題がありましたが、NS工法では梁及び床下に傷害物がなくなり、大きな改善となります。
- 仮設作業の工数ダウン
従来工法に比較して仮設機材の使用量が少ないこと、作業足場の組立・解体の回数が少ないこと、また支保工材の組立が簡単であること等から極めて合理的なシステムになっています。
- 工期の短縮・確実性
組立・解体手順が決まるので、次工程にすぐ取りかかれ、また2フロア同時作業も可能となります。
- 安全作業の強化
高所作業における足場が鉄骨ボルト締め作業から型枠の解体作業まで一貫して使用出来るため、安全性が確保出来ます。



組立・解体順序

1. 固定金具の溶接…鉄骨加工工場割付施工図によって鉄骨梁下フランジに固定金具を溶接固定する。
2. 大引金物の取付組立…現場地上又はローリングタワーによる作業
(1)ソケット②と大引金物③を固定金具に吊ボルト④にてセットする。
(2)大引金物③に吊足場枠⑤を固定ボルト⑥にてセットする(割付図による)
3. 鉄骨建方…仮止め、吊足場の組立完
4. ボルト止め、溶接作業…吊足場上
5. 配筋作業……………吊足場上
6. 梁型枠の組立……………吊足場上
底板の加工以外は従来工法と変わらず
7. 床型枠の組立……………吊足場上
計量支保梁使円。
8. コンクリート打設…………吊足場上
ジャンカ防止作業
9. 床型枠、梁側の解体……吊足場上
10. 梁底型枠、足場の解体……下床面より

注記：地組の際は、梁を架台にシャコ万力などでしっかり固定し、転倒しないよう安全作業に心掛けて下さい。

